

ママの保健室 希望のプレママさん特集

～釧路での不妊治療と助成制度～

現代は、女性の社会進出やキャリア形成が進み、結婚や出産のタイミングが多様化しています。その結果、晩婚化が進み、出産年齢の幅も広がってきました。厚生労働省の統計では、20代・30代の出産は減少傾向にある一方、40代の出産は増加しています。今回は、制度を上手く活用しながら、現在不妊治療に取り組んでいるハポライターの佐藤陽子が、自身の経験をもとにお話します。

不妊治療の保険適用と助成制度

2022年4月から、不妊治療の一部が保険適用になりました。年齢によって適用回数異なるのをご存じですか？

<p>治療開始年齢 ～39歳</p> <p>子ども1人あたり 6回までの移植が 保険適用</p>	<p>治療開始年齢 40～42歳</p> <p>子ども1人あたり 3回までの移植が 保険適用</p>	<p>治療開始年齢 43歳～</p> <p>保険適用の 対象外</p>
--	--	---

私は2023年11月に40歳で開始。ちょうど保険も助成金も対象の時期でとても助かりました。

釧路市の助成金制度

2024年1月から、先進医療(保険適用外)の費用が7割まで助成される制度が始まりました。(※上限35,000円)交通費も一部助成されます。申請できる対象は、2023年4月以降の治療の方です。

例えば タイムラプス法(22,000円)→**15,400円助成**
この金額は、病院によって異なります。

実際にかかった費用と治療のリアル 佐藤の場合 札幌のクリニックに通院しながら治療を進めた費用は以下の通りです。

1回目(通院7回)……………229,015円	医療保険の重要性 1回目…127,000円 2回目…70,000円 3回目…208,009円 医療保険に入っていて本当に助かりました。 先進医療対応の保険に入っていて良かったです。まだの方は、ぜひ検討してみてください。
2回目(通院5回)……………86,285円	
3回目(通院9回)……………257,390円	
4回目(現在進行中)……………89,515円	
これまでの治療費合計:662,205円	

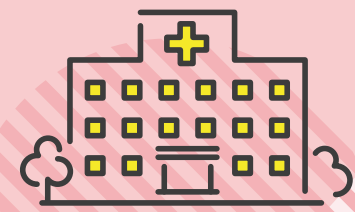
さらに、札幌まで通っているの、交通費は1クールあたり10万円程かかっています。

つまり実際にかかる自己負担は1回あたり約5万～10万円です。 ※医療保険に加入し、交通費がからない場合

最初の一步はAMH検査から

AMH(抗ミュラー管ホルモン)とは、女性ホルモンの一種で、卵巣の機能や卵子の数を推定する検査項目です。女性の卵子は、年齢を重ねるごとに数が減り老化していくので、今の自分の卵子年齢が、どのくらいかを調べるのが治療の第一歩です。

釧路市では、以下のクリニックで受けることができます。
●くしろレディースクリニック ●足立産婦人科クリニック
※AMH検査は、釧路市の助成金制度の対象ではありません。



おすすめの本

妊娠の新しい教科書
著:堤 治 / 文春新書
発行日:2022年4月20日
税込価格:¥902

妊娠に関する最先端の知識を学ぶ事ができます。これを読めば、一通り理解できます。とても分かり易くてオススメです!

想い

「赤ちゃんは空から見ていて、どの家庭に行こうか悩んでいる」という話を聞いたことがあります。なかなか授からず悩んでいた時、夫が言ってくれた言葉に心が軽くなりました。「うちは人気がありすぎて渋滞してるんだよ。誰が行くか決まらなくて、結局誰も行けない状態なんだよ。」「なるほどね」と笑い合いながら、今日も前向きな気持ちで治療に向き合っています。赤ちゃんを迎えたいと願うすべての方に、希望の光が届きますように。

ハポライター
佐藤 陽子

釧路市からの情報

釧路市先進不妊治療費等助成事業のご案内

釧路市では、不妊治療における金銭的なご負担を軽減するため、医療保険適用された治療と一緒に行われた先進不妊治療(厚生労働大臣が定める不妊治療の技術)にかかった費用と交通費の一部を助成しています。

●対象となる方(次の全てに当てはまる方)

- ・治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である夫婦であること。
- ・夫婦のいずれかが申請日時点において釧路市に住所を有していること。
- ・治療開始日時点で法律上の婚姻をしていること。(事実婚関係にある者も含む)
- ・助成対象となる先進不妊治療について、他の自治体で助成を受けていないこと。

助成の対象となる治療や詳細は、釧路市ホームページでご確認いただくか、釧路市こども保健部健康推進課(0154-31-4524)までお問い合わせ願います。申請に必要な書類は、釧路市ホームページからダウンロードできます。